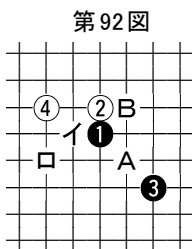


遊星ガイド (11)

九段 河村典彦

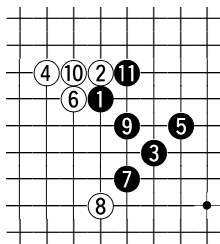
今回も新しい白4の防ぎを研究していこう。



【第92図】この白4は黒の引き筋をけん制しており、しかも次にイヤロと好形に構える手が控えている。従って黒の打てる手があまり多くないように見えるが、果たしてどうであろう。これから順次調べていきたい。

黒5でAとBはさすがに黒がいい。これは図で示すまでもないだろう。ということ、残りの候補を探っていこう。

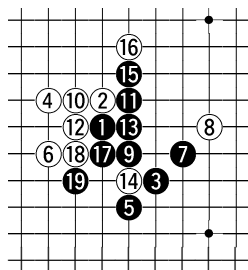
第93図



【第93図】黒5と打つのは盲点になるので気が付きにくいですが、この手が成立すれば黒としては提示が楽になる。この5の特徴は黒7と一本引けることで、白8の石が序盤ではあまり働かないだけに、黒7の三引きはかなりお得な交換である。

さて、白が固まるとすれば6が妥当な所だろう。この手には黒7と引いて、さらに黒9と引いて白10に黒11と止めておく。7、9、11でできた剣先はかなりの威力で、もちろん白の引き筋をけん制している。白6を他の防ぎ、例えば5の近くに防いでくるなら、黒はさらに呼手を打って良いだろう。

第94図

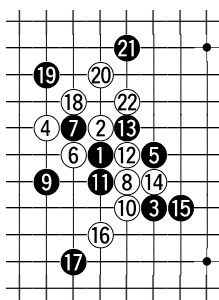


【第94図】前図の黒5が成立するのなら、こちらの黒5も成立すると考えて良いだろう。白6はこちらに構えるのもありそうだ。

しかしながら、黒は同様に黒7から11まで打っておくのがやはり良く、結局白12から白に引き筋があるかが勝負となる。白12と引いては前図の続きに戻っている。黒13、15と四ノビの連続でいったん止め、黒17と幸運にノリ手を打っておけば問題ない。白18にも黒19でノリ返しだ。

【第95図】黒5には白6で9と打てば前図の形に戻るが、白6がそれを上回るいい形に見える。黒は切り札の7を使ってそれから防ぎに行くしかない所だろう。防ぐとすれば黒9なのだろうが、白はここで10から引いていく手がある。続いて白12と引けば石がだんだんつながってくる。

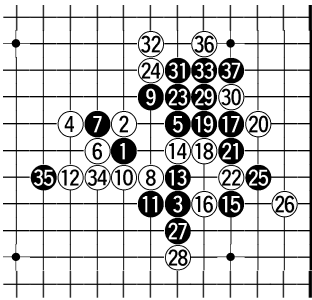
第95図



白14、16と引かれると、白が攻め切れるかどうかの状況となる。しかしこれだけ三を引かれると、上下がつながるものである。白18から上辺を打たれ、白22とミセ手を打たれると、これはもう止まりそうもない。黒は9で一本14に引く方がいいかもしれないが、それはそれで白に呼手を打たれてしまうのであまり良くならないだろう。

【第96図】黒5は前図と同じように見えるが、今度は黒9でこちらから叩く手がある。そこが前図とは違うところだ。

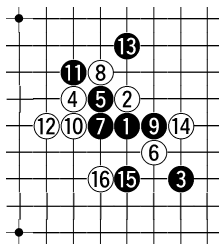
第96図



白には10、12と攻める手があり、黒13と止めることになるが、ここから黒勝ちがあるかどうか肝心な所だ。ここから黒勝ちがあるなら、白10から手を変えて防ぎに行くことになり、黒が有利な局面となる。

ここから攻めるには、黒15と飛ぶのがまず第一歩である。続けて黒17と飛ぶのが左辺の白模様を相手にしない手で、黒19、21と引いていく。こうなれば後は騎虎の勢いで攻めるしかない。途中で黒25、27と止めておくのがポイントで、黒29と三を引けばゴールが見えてくるが、白28で右辺尻から止める手があり、黒勝ちには至らない。

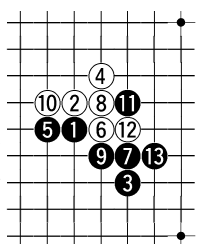
第97図



【第97図】黒5は最後の手段という感じがいつもするが、やはり最終手段であろう。一旦黒7という形は作れるものの、白6に石が入っている関係上、すぐに勝ちには至らない。黒は9と引いて11と辛抱する必要がある。白12から逆に白に引かせて逆を取るのが黒の狙いで、白もそれを察知して14と止めておく。黒15、白16とお互いに相手の急所を止めて、これからの勝負となる。

【第98図】白4で新しい手を調べていこう。この白4はいかにも強

第98図

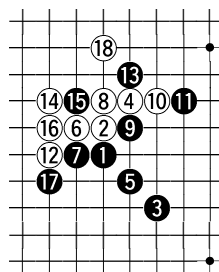


【第99図】黒5と三を引く手は通常ならすぐに勝てるのだが、この場合ほちよつと待って?となりそうである。白6に黒9はすぐに三々禁となるので、黒7と打つしかない。ここで白8と密集されると黒は手も足も出なくなる。黒9と頑張っても、白10から12と引かれてしまう。白14、16と白に自由に引かれては止まらない。

【第100図】黒5の切り札を使ってしまう手が既に第3の候補となっている。黒7と止める手が白4の勢いを止めており、左辺への展開を狙うことになる。白10、12と引き、白14と三々禁を狙うのは打ちすぎにも見えるが、黒はなかなか打開に苦労する。

黒17と叩くのはこういう形での手筋だが、白18と白はなおも狙ってくる。以下上辺での攻防となるが、黒は白模様を四ノビを使って防ぐことになる。

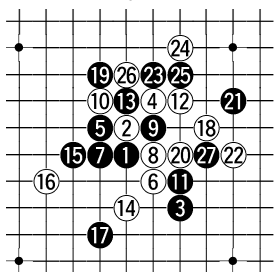
第99図



【第100図】黒5の切り札を使ってしまう手が既に第3の候補となっている。黒7と止める手が白4の勢いを止めており、左辺への展開を狙うことになる。白10、12と引き、白14と三々禁を狙うのは打ちすぎにも見えるが、黒はなかなか打開に苦労する。

黒17と叩くのはこういう形での手筋だが、白18と白はなおも狙ってくる。以下上辺での攻防となるが、黒は白模様を四ノビを使って防ぐことになる。

第100図



【第98図】白4で新しい手を調べていこう。この白4はいかにも強